



特集 いね！ ～私が感じた国東市～

新たな観光戦略や就農者の育成、企業誘致などにより「地元力」「定住力」「新活力」を目指す国東市。ところで、国東とご縁をもった人たちは、どのような印象をお持ちなのかお聞きしました。国東に住み慣れた私たちには“あたりまえ”と知っていることが、実は国東の魅力“いいね！”なのかもしれません。

プロフィール

山梨県在住。世界各地を旅し、アウトドア雑誌を中心にエッセイを掲載する紀行作家。日本ロングトレイル協議会のアドバイザーを務め、講演やテレビ、ラジオで魅力を伝え続けている。フォーラムの記念講演では、「世界と国東半島のロングトレイル」と題して体験談を話した。

歴史や文化に包まれた国東でしか体験できない取り組みを、100年先の未来に向けて続けていってほしいです。

これほど豊かなコースは、ほかにはありません。空港も近いので日本だけにどまらず、世界に向けて誇れると思っています。

国東を歩く旅は世界に誇れる

国東半島峯道ロングトレイルコースを歩きました。山あり谷ありの起伏のあるコースで険しいポイントもありました。しかしそこを乗り越えれば素晴らしい風景に出会えました。地元の方にとってはあたりまえかもしれませんが、寺社や石仏を巡ることも、空港も近いので日本だけにどまらず、世界に向けて誇れると思っています。

シエルパ 斉藤さん



▲ロングトレイルフォーラムで討論する関係者
長は、「国東では昔から、歩くことが脈々と受け継がれてきました。コースの安全管理に努め、地域住民と一緒に、なって活性化につなげたい」と意気込みを語りました。
翌日は、国東市と豊後高田市のそれぞれのコースで体験ウォークが行われ、参加者たちは新緑の国東路の旅を満喫したようです。

第7回ロングトレイルフォーラム

5月31日・アストくにさき

国東半島の修験道や世界農業遺産認定の場所などを歩いて巡る「国東半島峯道ロングトレイル」のコース開通に合わせて開催された全国大会。国東半島峯道トレイルクラブなどの主催で、全国から愛好家や関係者など約400人が参加しました。
開会式で日本ロングトレイル協議会の節田重節会長は、「できる限り歩いて体験したいという自然志向が高まっています。歩く旅のネットワークを世界に広げていきましょう」と呼びかけました。

パネルディスカッションでは7人が登壇し、ロングトレイルを地域に定着させ観光振興につなげる方策を議論しました。先進地である高島（滋賀県）の代表者は「食や宿泊、交通などと結び付け経済的に潤う仕組みを作れば、ロングトレイルは地域に根付いていく」とアドバイザー。国東半島峯道トレイルクラブの高橋誠一事務局

平成25年
6月号 (第87号)



マスコットキャラクター「さ吉くん」デビュー。国東半島宇佐地域が世界農業遺産認定。ローマ法王から熊本小に感謝の手紙。国東半島峯道ロングトレイルオープン。

平成24年
4月号 (第73号)



国東町の来浦・大恩・豊崎・富来小が閉校し、新しく富来小学校が開校。消防署南分署が完成。国東市民病院新館で診療開始。

平成23年
9月号 (第66号)



夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会に国東市民2000人が参加。東日本大震災発生、義援金・被災者支援始まる。くにさきT-1グランプリ開催。

広報あき



広報むさし



広報くにさき



なつかしの... 旧町広報紙の最終号

(平成18年3月発行)

広報くにみ



市報の取材や撮影にご協力いただいたみなさま、配布してくださる区長さんをはじめ関係者のみなさま、店頭に設置して下さる店舗のみなさまに厚く感謝申し上げます。これからも「市報くにさき」をよろしくお願ひします。
広報室一同